

全国社会就労センター協議会（セルプ協） 第23期（平成30年度）リーダー養成ゼミナール

開催要綱



1. 趣 旨

障害福祉制度の変革の中で、働く意欲がありながら障害等の理由により一般就労が困難な人々の「働く・くらす」を支えてきた社会就労センター（セルプ/SELIP）の重要性は増しており、その役割を理解し実践できる人材が求められています。

本講座は、セルプのセンター長や中堅幹部職員などを対象として、今後のセルプを担う者としての必要な知識等の習得やリーダーシップの養成、またセルプ関係者間のネットワークの構築を目的に開催します。

2. 主 催

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会（セルプ協）

3. 対 象

セルプ協会員施設・事業所のセンター長および中堅幹部職員
※ 本会会員以外の施設・事業所は対象外となります。

4. 定 員

18名

5. 受 講 料

98,000円

※ 昼食費、情報交換会費、交通費、宿泊費等は含まれておりません。

6. 日 程

① 前期面接授業

平成30年8月22日（水）～24日（金）

② 後期面接授業

平成31年1月16日（水）～18日（金）

③ 修了式

平成31年3月15日（金）

7. 会 場

全国社会福祉協議会 会議室

（東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビル5階）

TEL:03-3581-6502（高年・障害福祉部）

8. 講座内容（予定）

（1）スケジュール

● 前期面接授業 〔3日間〕

8/22 （水）		13:00~14:00 ①基調報告	14:15~15:15 ②事業振興について学ぶ（総論）	15:30~17:30 ③就労支援の原点	18:00~ 情報 交換会
8/23 （木）	10:00~16:00（※昼食時間、移動時間等含） ④先駆的な取組から学ぶ（施設訪問）				17:30~ 情報交換会
8/24 （金）	9:00~12:00 ゼミナール	昼食	13:00~14:30 ⑤事業振興について学ぶ （利用者支援）		

● 後期面接授業

〔3日間〕

1/16 (水)			13:00~14:00 ⑥情勢説明	14:15~17:15 ⑦個別支援計画	17:45~ 情報交換会
1/17 (木)	9:00~12:00 ゼミナール	昼食	13:00~14:30 ⑧事業振興について (「コンセプトメイキング のワークショップ」)	14:45~15:45 ⑨就労移行支援・定着 支援について学ぶ	16:00~18:00 ⑩職業リハビリテー ション
1/18 (金)	9:30~12:00 ⑪地域での生活を支える 相談支援のあり方	昼食	13:30~16:00 ⑫制度改革ディスカッショ ン		

● 修了式

3/15 (金)		11:00~16:20 ゼミナール(修了レポート発表・講評) (うち60分は、特別講義)	16:30 ~55 修了式	17:30~ 情報交換会
-------------	--	--	---------------------	-----------------

(2) ゼミナールについて

3名の担当講師によるゼミナールを実施します。ゼミナールでは、事前レポートをもとにした受講生の問題意識の確認、修了レポート作成(8,000字以上)や課題の達成に向けた助言等を行います。面接授業時のみならず、受講期間中はメール、文書等により担当講師によるサポートを行います。

※ 修了レポートの作成に際しては、前期・後期の面接授業に合わせて、事前シートや中間レポート等を作成・提出いただきます。

【年間テーマ】「働く・くらす」を支える制度のあるべき姿とは

~わが施設・事業所に必要な取り組み~

(3) 講師(敬称略)

【ゼミナール】	<内藤ゼミ>	内藤 晃 (セルプ協 調査・研究・研修委員長/セルプ士)
	<志賀ゼミ>	志賀 正幸 (セルプ協 総務・財政・広報委員長/セルプ士)
	<三橋ゼミ>	三橋 一巳 (セルプ協 事業振興委員/セルプ士)
① 基調報告	阿由葉 寛(セルプ協 会長/セルプ士)	
⑥ 情勢説明		
② 事業振興について学ぶ(総論)	小池 邦子(セルプ協 副会長)	
③ 就労支援の原点	叶 義文(セルプ協 副会長/セルプ士)	
④ 先駆的な取組から学ぶ(施設訪問)	新堂 薫(福武蔵野千川福祉会 常務理事) (訪問先:チャレンジャー)	
⑤ 事業振興について学ぶ(利用者支援)	寺口 能弘(セルプ協 事業振興副委員長)	

⑦ 個別支援計画	桑原 隆俊 (セルフ協制度・政策・予算対策委員長/セルフ士)
⑧ 事業振興について(コンセプトメイキングのワークショップ)	加藤 未礼(コミュニケーションデザイナー・ワークショップデザイナー)
⑨ 就労移行支援・定着支援について学ぶ	酒井 大介(セルフ協就労移行支援事業部会幹事)
⑩ 職業リハビリテーション	倉知 延章(九州産業大学 教授)
⑪ 地域での生活を支える相談支援のあり方	中島 秀夫(日本相談支援専門員協会 顧問)
⑫ 制度改革ディスカッション	井上 忠幸 (セルフ協制度・政策・予算対策委員/セルフ士)
⑬ 特別講義	[調整中]

(4) 講義概要

講 義	概 要
①基調報告・⑥情勢説明	○本ゼミナールの位置づけ ○障害福祉制度改革の動向とセルフ協の取り組み
②⑤⑧事業振興について学ぶ(総論、利用者支援、販売・生産管理)	○セルフの事業振興において重要な視点、姿勢 ○セルフにおける販売・生産管理のポイント ○セルフにおける事業コンセプト作りのポイント
③就労支援の原点	○セルフの歴史 ○セルフの定義、目的、機能論 ○「働く・くらす」を支える制度はどうあるべきか
④先駆的な取組から学ぶ(施設訪問)	○工賃向上で実績を上げている事業所、就労移行で成果を上げている事業所の実践事例より、自事業所の課題・将来展望を学ぶ
⑦個別支援計画	○セルフ協モデル個別支援計画のねらい ○個別支援計画のすすめ方
⑨就労移行支援・定着支援について学ぶ	○就労移行支援事業の仕組みや関連制度 ○就労移行支援、定着支援のポイント
⑩職業リハビリテーション	○職業リハビリテーションの概要、ポイントと課題 ○一般就労に向けた支援のポイントと関連制度の概要
⑪地域での生活を支える相談支援のあり方	○相談支援の現状と課題 ○働きながら地域で生活することを支える相談支援の役割
⑫制度改革ディスカッション	○障害者総合支援法3年後見直を踏まえた就労支援の在り方 ○障害者権利条約の理念と働く障害者のために果たすべきセルフの役割 ○セルフ協における就労支援のあるべき姿の検討経過

※ ご受講にあたりテキストのご準備をお願いします。受講決定通知後にご案内をいたします。

左：社会就労センターハンドブック

右：社会就労センターのモデル個別支援計画



9. 情報交換会

講師や受講生間の交流や情報交換を目的として開催いたします（講師の参加もごさいます）。同期によるつながりが、修了後の日本セルフ士会での活動等で続いていくことも本講座受講の醍醐味の一つですので、基本的には全員にご参加をいただきたく存じます。是非ご予約ください。（会場は研修会場付近、会費は各回 4,000～5,000 円程度）

10. 申込方法

平成 30 年 6 月 15 日（金）までに受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX にて事務局宛に送信ください。（14.その他、受講に関する問い合わせ先（事務局）参照）

11. 受講の承認について

本会における審査の上、6月下旬を目処に申込者本人に通知します。受講料の振込先等はその際にご案内いたします。

12. 本講座の修了について

全日程を受講し、各プログラムにおける課題や修了レポート（8,000 字以上）を提出いただいたうえで、その内容より本会において修了に足ると認められた方には、修了式において「セルフ士」資格（称号）（※第 22 期までに約 330 名超が取得）をセルフ協会長より授与いたします。

講義欠席やレポート未提出等により 1 年間で本講座が修了できなかった場合は、翌年度に限り補講（未修了の科目を受講）に参加することができます。なお、講義欠席等による受講料の返金はいたしません。

【日本セルフ士会について】

本講座の修了を入会資格とし、さらなるリーダーとしての資質向上や研鑽などを目的とし、研修・交流等に係る事業を実施している団体です。全国社会就労センター協議会の内部組織として設置しております。

13. 個人情報の取り扱いについて

受講申込書に記載いただいた個人情報については、本ゼミナール及び本講座修了生団体である日本セルフ士会に係る企画、参加券等各種資料の送付、参加者名簿の作成および各種管理等、本事業関連のみの目的で使用いたします。

【参加者名簿の作成について】

事務局において、参加者の把握、参加者同士の交流に資するため、受講申込書を基に、参加者名簿（都道府県、参加者氏名、施設・事業所名、施設・事業種別、役職等を記載）を作成し、当日受講者に配布いたします。

14. その他、受講に関する問い合わせ先（事務局）

全国社会就労センター協議会（「セルフ協」）事務局〔担当：寺西・小高・安藤〕
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部内
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL:03-3581-6502 FAX: 03-3581-2428 E-mail:selp@shakyo.or.jp